

地理參考書研究 (第二回)

一、海洋學講話 横山又次郎著 定價 壹圓五拾錢  
早稻田大學出版部發行  
海洋の大きさ、形、深さ、沈澱物、海水の化學的及物理的性質、並に海の運動について可なり精密な説明をなして居る、中等程度の參考書としてよい書である。

二、地質學教科書 同氏著 定價 九拾錢  
富山房發行  
地相、岩石、働力、岩成、構成、歴史等の諸篇に分ち地質學の概要を初學者にも分り易く説明して居る面白く讀む事が出来る。

三、地震觀測法 中央氣象臺 定價 壹圓  
普通地震計、大森式微動計、其他の地震計についての構造、取扱方、觀測の要素、遠地地震、近地地震、脈動及地盤の傾斜について實際的に説明してゐる、觀測法の概要を知る事が出来る。

四、海の物理學 寺田寅彦著 定價 七拾錢  
日本ローマ字社  
海に關して精しい物理的説明をなしてゐる、海の運動等を調べるのによい參考書でローマ字綴で書いてある。

見出し得の長所 專一

可成り親しくつきあつてゐる今でさへ、私は其の人に對して心から打ちとける事が出来ない。  
何人ものぞき見る事を許さない、いかめしい黒眸につまられた中に、我儘いづばいに育てられた爲か、いまはいい噂の主を、父にもつた爲か、その人は余りに邪推が深すぎる物ごさをさか悪意に解釋しやうとする。紅絹が何であるかを知らず、門のない家を不思議がつた程、世の中を知らない人でありながら、人を疑ふ事を、どうしてこんなに知つてゐるのであらう。私達があたり前と思ふ事でさへ、さも善意に解釋した様に、誇らしげに語る時、私はつく／＼あさましくなる。  
又、容易に人を信じない、折角説明してあげた事を、又他の人にきいて居るのを、私は何度もみた。  
何不自由ない家に、末子として生れたその人は、己が意を通す事になれて、人の爲さぬ事は、余り思はない様だし遠慮する等といふ事は、考へも及ばぬらしい。  
表面に表れたその人は、いかにも無邪氣な、面白い人なのに時には卑劣な手段によつてまで、己が利を計らうとする。あさましい人、さ、あはれみながらも、毛虫の様にきらひ度くもないのは、その人に、私の見出し得の長所があるにちがひない。

四月の分

一、話方に關する諸問題 (國語教授四月號)

五月國語教授界

- 一、中小學の連絡を計る (國語教授) 保科孝一
- 二、支那の韻文に就て (全上) 兒島献吉郎
- 三、誤字忘字の原因 (全上) 西川由大郎
- 四、讀み方教授について (全上) 蘆田惠之助
- 五、人情美教材觀ノ一 (全上) 妹尾良彦
- 六、綴り方に於ける創作意義 (全上) 花田甚五郎
- 七、綴斷式讀み方教授研究 (帝國教育) 大分附屬小學校
- 八、作文力と觀察修練 (普通教育) 富田佐一

六月國語界

- 一、韻文教授要點 (教授の實際) 五十嵐力
- 二、教師の話下手 (小學校) 市川源三
- 三、訓育と綴り方 (小學研究) 西尾實
- 四、綴り方教授の眞諦 (普通教育) 梅田誠一
- 五、文の餘裕 (國語教授) 八波則吉
- 六、人情美教材觀 (國語教授) 妹尾良彦
- 七、小品文の價值と其指導 (一) (全上) 五味義武
- 八、創作指導上の十項目 (全上) 新井順一郎
- 九、文章分類の必要と其方針 (全上) 駒村德壽
- 一〇、尋常六年の綴り方教授 (小學研究) 花田甚五郎

七月國語教授界

一、尋常六年の綴り方教授

自由選題の後始末

- 一、書方の根本要件 (教育の實際) 服部岩松
- 二、政治的問題について (小學校) 河野伊三郎
- 三、綴り方劣等生の指導 (國語教授) 保科孝一
- 四、小品文の價值と其指導 (二) (全上) 岡井良二
- 五、我が作文教授 (全上) 五味義武
- 六、讀み方練習法研究 (全上) 金子彦二郎
- 七、書簡文の教授について (全上) 長澤末次郎
- 八、漢字教授上の注意 (小學校) 丸山大介
- 九、國語教授上教授者の態度 (國語教授) 原田末吉
- 一〇、再支那の韻文に就いて (全上) 保科孝一
- 一一、國語教授者修養の要點 (全上) 兒島献吉郎
- 一二、綴り方教授改良の要點 (全上) 蘆田惠之助
- 一三、高等科綴り方に於ける余の試み (全上) 近藤空
- 一四、綴り方教授上最も顧慮すべき問題 (全上) 下山懋
- 一五、小品文の價值と其指導 (三) (全上) 五味忠度
- 一六、國語体文章昔物語 (全上) 五味義武
- 一七、綴り方教材と文題との關係 (小學校) 岩城準太郎
- 一八、綴り方教授の到達點 (小學研究) 五味義武
- 一九、書取の任務 (教育研究) 生田五郎
- 二〇、短篇戯曲の本質價值及指導 (國語教育) 水戸部寅松
- 二一、綴り方成績處理の實際 (全上) 竹村定一
- 二二、綴り方成績處理の實際 (全上) 小林喜一

八月國語教授界

- 一、自由選題の後始末 (教育の實際) 服部岩松
- 二、書方の根本要件 (小學校) 河野伊三郎
- 三、綴り方劣等生の指導 (國語教授) 保科孝一
- 四、小品文の價值と其指導 (二) (全上) 岡井良二
- 五、我が作文教授 (全上) 五味義武
- 六、讀み方練習法研究 (全上) 金子彦二郎
- 七、書簡文の教授について (全上) 長澤末次郎
- 八、漢字教授上の注意 (小學校) 丸山大介
- 九、國語教授上教授者の態度 (國語教授) 原田末吉
- 一〇、再支那の韻文に就いて (全上) 保科孝一
- 一一、國語教授者修養の要點 (全上) 兒島献吉郎
- 一二、綴り方教授改良の要點 (全上) 蘆田惠之助
- 一三、高等科綴り方に於ける余の試み (全上) 近藤空
- 一四、綴り方教授上最も顧慮すべき問題 (全上) 下山懋
- 一五、小品文の價值と其指導 (三) (全上) 五味忠度
- 一六、國語体文章昔物語 (全上) 五味義武
- 一七、綴り方教材と文題との關係 (小學校) 岩城準太郎
- 一八、綴り方教授の到達點 (小學研究) 五味義武
- 一九、書取の任務 (教育研究) 生田五郎
- 二〇、短篇戯曲の本質價值及指導 (國語教育) 水戸部寅松
- 二一、綴り方成績處理の實際 (全上) 竹村定一
- 二二、綴り方成績處理の實際 (全上) 小林喜一